「映像による避難所開設マニュアル」
製作の背景と意図

１．蓮田市の現状

最近の自然災害の状況

日本各地どこでも、これまでに
経験していない災害が起きる状況

蓮田市はこれまで災害がなく、これからも起きない？

この『正常性バイアス』に基づく準備や行動は、
都合の悪い情報を過小評価するため、**避難の遅れや**
被害の拡大を招来することが危惧されます

避難所の開設に役立つマニュアルがない

災害時に避難所開設が発令された後も、
誰が避難所開設を行うかについては、
明確なマニュアルもなく、
実際には**開設まで時間**がかかり、
命の危険性にも及ぶ状況にもなりかけない
事態が予想されます

２．避難所開設は、誰が行うか？

避難所の開設

地域住民や、避難された「避難者」が
自主的に行う事を明確にすることが必要

映像による、避難所開設マニュアルの作成

その開設・運営の進め方や役割分担、順序、注意点を
実践的かつ分かり易く**映像で説明**することを意図し、

二次元コードを通して「開設マニュアル」を読み取り、
誰でも・いつでも見られる
スマートフォン時代に即した新しい仕組みを採用しました

３．新しい避難所開設・運営の仕組みと取り組み

<u>新しく、取り入れた工夫</u>

（１）**役割ごとに「チャプター動画」**を製作し、
役割分担や、やり方を分かりやすくしました

（２）**総合案内**の設置と**協力者の募集**を取り入れました

（３）ブルーシートを使った、
新しい簡便な区割り方法を採用しました

（４）これからの人間的な避難所生活を考えた
プライベートテント、エアーベット、仮設トイレ、
携帯トイレの試験的な推奨を組み込みました

これらの事項を、新たな提案として組み込みました

本事業が、実践的な避難所開設・運営に活用され、今後の新たな企画や考察の素材となれば幸いです